

科目名	CSU I B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	岡田弘子
学科・コース	スーパークリエイター科昼ー1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (1)		
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会カウンセリング心理士 心療内科非常勤カウンセラー						
授業の学習 内容	1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。						
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。						
評価方法と基準	1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験(後期最終日に実施) 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月30日	講義 集団演習	＜自己紹介ワーク＞クラス仲間と交流する。 「10の基本スキル」をチェックする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	5月14日	講義 集団演習	＜クラスの理解＞仲間のことを知る。 グループ会話を体験する。CSUアンケート	
3	5月28日	集団演習	＜名画鑑賞＞協同作業を体験する。 作品のタイトルとイメージを発表する。	
4	6月18日	講義 個人演習	＜エゴグラム＞心の構造とその特徴を知る。 自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。
5	7月2日	集団演習	＜なぞの宝島＞情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
6	7月16日	講義 集団演習	＜アサーション＞適切な自己主張を理解する。 上手な頼み方・断り方を学ぶ。CSUアンケート	自己表現と他者への関わりを振り返る。
7	8月27日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義①＞教科書学習。 「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。
8	10月1日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義②＞教科書学習。 仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。
9	10月22日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義③＞教科書学習。 就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。
10	11月5日	講義 集団演習	＜CSU検定集中講義④＞教科書学習。 顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。
11	11月19日	集団演習	＜砂漠で遭難！＞コンセンサス(意見の一致・全員の合致)のとり方を体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
12	12月3日	集団演習 講義	＜バスは待ってくれない＞協同作業を通して、集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。	
13	12月17日	集団演習	＜おもしろ村＞情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを振り返り発表する。	
14	1月14日	個人演習	CSUの振り返り～記述試験 CSUアンケート	CSUで経験したことを思い出す。
15	調整中	試験	CSU検定試験	
準備学習 時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。	
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	エルド吉 水
学科・コース	スーパークリエイター科昼ー1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	『龍子 RYUKO』が「このマンガをよめ！」4位「このマンガがすごい！」オトコ編13位。 東京芸術大学大学院修了						
授業の学習 内容	イラストに必須な人体作画 複数の可動フィギュアを配置して撮影し作画、自撮りや友人をモデルに撮影して作画。 年に4回は実際のモデルさんをスケッチ。頭身・プロポーション・筋肉骨格・重心から人体パース イラストに必須な立体感と空間 肉体の立体感はマッチョな石膏像デッサン！！キャラの位置関係や背景表現は静物デッサン！ 衣装の質感の違いの描き分け、光の演出なども学べます。						
到達目標	イメージした人体ポーズや人体パースを描ける。 複数のキャラが同じ空間にいるように描ける。 身体の立体感を描ける。						
評価方法と基準	個々の長所を最大限に評価します。 前作からどれだけ改善努力をしたかを評価します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	実習	①自己紹介②スマホを見ないで立ち絵を描く ②立ち絵の模写(スマホで好きな絵を探してB4サイズに模写)	すべて次週までに提出すること
2	5月13日	実習	可動フィギュアにポーズをさせて撮影して描く 講評	すべて次週までに提出すること
3	5月20日	実習	友人クロッキー(骨格、比率、重心を解説後に実技)	すべて次週までに提出すること
4	5月27日	実習	可動フィギュアにポーズをさせて撮影して描く 講評	すべて次週までに提出すること
5	6月3日	実習	友人クロッキー(服を着た人間を7分間で描く)	すべて次週までに提出すること
6	6月17日	実習	手と顔を組み合わせたポーズを撮影して描く(自撮りか友人)講評	すべて次週までに提出すること
7	6月24日	実習	友人クロッキー(服を着た人間を7分間で描く)	すべて次週までに提出すること
8	7月1日	実習	男性モデルクロッキー(パンツ姿で4セット+着衣で2セット) 1セット=10分ポーズ×2	すべて次週までに提出すること
9	7月8日	実習	1.鉛筆デッサンの解説 2静物デッサン(玉ねぎとニンニクとアボガド)	すべて次週までに提出すること
10	7月15日	実習	前回のデッサンの講評。 友人クロッキー	すべて次週までに提出すること
11	7月22日	実習	1.鉛筆デッサンの解説 2静物デッサン(バスと玉ねぎとピーマン)	すべて次週までに提出すること
12	8月26日	実習	前回のデッサンの講評。 友人クロッキー	すべて次週までに提出すること
13	9月2日	実習	友人クロッキー(高校時代の制服やコスプレも可)	すべて次週までに提出すること
14	9月9日	実習	女性モデルクロッキー(水着姿で4セット+着衣で2セット) 1セット=10分ポーズ×2	すべて次週までに提出すること
15	9月16日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			学校内で友人クロッキー、自分の手のスケッチ、風景のスケッチなど。□	
【使用教科書・教材・参考書】鉛筆、練り消しゴム、消しゴム、カッターナイフ、クロッキー帳、B3スマホとモバイルバッテリー(充電済)				

授業名(時間割 表記)	ビジネスツール I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	スーパークリエイター科昼ー1年B	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	現代社会ではどのような職種に就いたとしてもオフィスアプリケーションの使用は必須。 そのため、オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointにつ いて基本的な操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	・Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointの基本操作の習熟 ・応用的な機能の練習を通じて、単純なビジネス文書作成だけではない使い方があることを理解する						
評価方法と基準	授業ごとの練習制作物の提出:60% 評価点(課題評価):40%(授業で説明した機能を正しく使えているか、提出物を評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4/27	実習	word: 基本的な入力・編集・操作	復習を行うこと
3	5/11	実習	word: 書式設定	復習を行うこと
4	5/18	実習	word: 文書の整形	復習を行うこと
5	5/25	実習	word: 図形、画像の利用	復習を行うこと
6	6/1	実習	word: 表組みの作り方	復習を行うこと
7	6/22	実習	word: ビジネス文書作成	復習を行うこと
8	6/29	実習	word: 差し込み印刷	復習を行うこと
9	7/6	実習	word: 拡張機能	復習を行うこと
10	7/13	実習	word: 文書作成総合	復習を行うこと
11	7/21	実習	Powerpoint: 基本的な入力・編集・操作。	復習を行うこと
12	8/24	実習	Powerpoint: 図形、画像、表組みの利用	復習を行うこと
13	8/31	実習	Powerpoint: 良いスライドを作るには	復習を行うこと
14	9/7	実習	Powerpoint: スマートアート	すべての課題を提出すること
15	9/14	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北山
学科・コース	スーパークリエイター科昼ー2年A	授業形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	東京藝術大学美術研究科博士後期課程彫刻研究領域修了。彫刻作品の制作、発表を行っている。						
授業の学習 内容	「デッサン力とは何か」を絵を描くことを通じて考えていきましょう。 無理にデッサンを好きになる必要はありません。絵を描き、直すことでリアルになってくるといふ楽しさを知ることが一歩です。ウ マイ／ヘタにとらわれずに、作品制作を「楽しむ力」、作品を良くするための「ものの見方」、「判断する力」を付けましょう。						
到達目標	・鉛筆の正しい削り方、デッサンを描く正しい姿勢の作り方を覚える ・モチーフのあり方、それらしさを的確に捉えられる(プロポーションの把握と表現)。 ・立体的なものの観察方法を身につける(光と陰影、奥行き把握と表現)。 ・モチーフの質感に迫る描写に挑戦する(固有色の把握と細部描写)。 ・積極的にデッサンを描き、直すことができるようになる(作品密度と精度にこだわる判断力)。						
評価方法と基準	基本的には個別講評を行い、以下の基準で評価します。 日常的に描き溜めたスケッチブック等の提出も可能。加点の対象とします。 ・制作を楽しめているか(絵の魅力) ・積極的に授業に取り組めたか(取り組み姿勢) ・デッサンとしての完成度(作品の精度) ・的確に自己評価できるか(判断力とコミュニケーション力)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4／23	講義	自己紹介／授業の説明／講義「デッサン力とは」	
2	4／30	実習	鉛筆の削り方 トーングラデーションパー制作 2H、H、HB、B、2B、4B	
3	5／7	実習	エクササイズドローイング 「身体で描く」	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
4	5／14	講義、実習	「デッサンの構図、エスキースについて」 エスキース	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
5	5／21	実習	静物デッサン①頭蓋骨と立方体	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
6	5／28	実習、講評	静物デッサン②頭蓋骨と立方体	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
7	6／4	講義、実習	「パースの話」パースを使ったラクガキをしよう	ラクガキ帳を持参してください。
8	6／18	実習、講評	ガラスを描く（パースと色幅、質感）	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
9	6／25	実習、講評	ぬいぐるみ（明暗のみ）	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
10	7／2	実習、講評	ぬいぐるみ（線のみ）	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
11	7／9	実習	写真模写①（陰影と固有色）	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
12	7／16	実習、講評	写真模写②（陰影と固有色）	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
13	7／23	実習	ドローイング演習「手、人体の構造について」 手、友人クロッキー（動きとプロポーション）	普段使わないような、好きな画材を持ってきてください。
14	8／27	実習	友人デッサン①（総合、応用）	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
15	9／3	実習、講評	友人デッサン②（総合、応用）講評	画材を確実に持参すること。減ってきたら買い足すこと。 鉛筆は授業前に必ず削っておくこと。
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】デッサン道具一式：鉛筆（2H、H、HB、B、2B、4B）、ねり消しゴム、カッター、クロッキー帳、ノート）他、授業で特別に必要な画材等は事前に指示します。				

授業名(時間割 表記)	ビジネスツール I A	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	スーパークリエーター科昼ー2年B	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	現代社会ではどのような職種に就いたとしてもオフィスアプリケーションの使用は必須。 そのため、オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointについて基本的な操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	・Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointの基本操作の習熟 ・応用的な機能の練習を通じて、単純なビジネス文書作成だけではない使い方があることを理解する						
評価方法と基準	授業ごとの練習制作物の提出: 60% 評価点(課題評価): 40% (授業で説明した機能を正しく使えているか、提出物を評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/20	講義	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4/27	実習	word: 基本的な入力・編集・操作	復習を行うこと
3	5/11	実習	word: 書式設定	復習を行うこと
4	5/18	実習	word: 文書の整形	復習を行うこと
5	5/25	実習	word: 図形、画像の利用	復習を行うこと
6	6/1	実習	word: 表組みの作り方	復習を行うこと
7	6/22	実習	word: ビジネス文書作成	復習を行うこと
8	6/29	実習	word: 差し込み印刷	復習を行うこと
9	7/6	実習	word: 拡張機能	復習を行うこと
10	7/13	実習	word: 文書作成総合	復習を行うこと
11	7/21	実習	Powerpoint: 基本的な入力・編集・操作。	復習を行うこと
12	8/24	実習	Powerpoint: 図形、画像、表組みの利用	復習を行うこと
13	8/31	実習	Powerpoint: 良いスライドを作るには	復習を行うこと
14	9/7	実習	Powerpoint: スマートアート	すべての課題を提出すること
15	9/14	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デッサンⅢA	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小梨貞文
学科・コース	スーパークリエーター科昼ー3年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	多摩美術大学油画卒業／イラストレーター						
授業の学習 内容	落ち着いてよく見る。描く前に多方向から対象を見て、形を理解する。見て描くことの意味を学ぶ。写メやスケッチしたモチーフをトリミングし、よいと思う構図や画面構成を考える。鉛筆の種類、芯の硬さの選択、芯の削り具合、筆圧を変える技術を身につける。。練り消しゴムを使った技術を習得する。モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつける。モデルを使用したクロッキー、スケッチにより人体の構造を把握する						
到達目標	イラストに繋がる表現の幅を広げる。構図、画面構成の視覚的効果を理解する。モチーフの位置関係・質感・固有色・陰影を、鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。形を捉える能力を養う。日常的に描く習慣と伝達手段としての描く行為を身につける。陰影を単なる現象として描写するのではなく、モチーフの形や色に沿って表現する力を養う。ポートフォリオに完成度の高いデッサンを入れる。						
評価方法と基準	作品の完成度、課題提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/25	実習	煉瓦と木槌 2 本とレモン	静物クロッキー
2	5/2	実習	煉瓦と木槌 2 本とレモン	〃
3	5/9	実習	ワイン瓶と紙袋とりんご 2 個	〃
4	5/23	実習	ワイン瓶と紙袋とりんご 2 個	〃
5	5/30	実習	鎖とブロック	〃
6	6/6	実習	鎖とブロック	〃
7	6/20	実習	石膏デッサン 頭部のみ	人体クロッキー
8	6/27	実習	人体クロッキー モデルさん使用	〃
9	7/4	実習	鳥の剥製 カラスは除く	動物クロッキー
10	7/11	実習	鳥の剥製 カラスは除く	〃
11	7/18	実習	鳥の剥製 カラスは除く	〃
12	7/25	実習	布と幾何形体2種とビール瓶	静物クロッキー
13	8/29	実習	布と幾何形体2種とビール瓶	〃
14	9/5	実習	布と幾何形体2種とビール瓶	〃
15	9/12	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン用具一式(鉛筆・練り消しゴム・カッター・ガーゼもしくはティッシュ)プリント				

授業名(時間割 表記)	ビジネスツール I A	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	甲田秀昭
学科・コース	スーパークリエイター科昼ー3年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	2015年よりオフィス系アプリケーションの講義を担当						
授業の学習 内容	現代社会ではどのような職種に就いたとしてもオフィスアプリケーションの使用は必須。 そのため、オフィス系アプリケーションのデファクトスタンダードであるMicrosoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointについて基本的な操作と機能について理解・習熟する。						
到達目標	・Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft Powerpointの基本操作の習熟 ・応用的な機能の練習を通じて、単純なビジネス文書作成だけではない使い方があることを理解する						
評価方法と基準	授業ごとの練習制作物の提出:60% 評価点(課題評価):40%(授業で説明した機能を正しく使えているか、提出物を評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/21	講義	自己紹介、授業内容の説明、PCの基本的な理解	
2	4/28	実習	word: 基本的な入力・編集・操作	復習を行うこと
3	5/12	実習	word: 書式設定	復習を行うこと
4	5/19	実習	word: 文書の整形	復習を行うこと
5	5/26	実習	word: 図形、画像の利用	復習を行うこと
6	6/2	実習	word: 表組みの作り方	復習を行うこと
7	6/16	実習	word: ビジネス文書作成	復習を行うこと
8	6/23	実習	word: 差し込み印刷	復習を行うこと
9	6/30	実習	word: 拡張機能	復習を行うこと
10	7/7	実習	word: 文書作成総合	復習を行うこと
11	7/14	実習	Powerpoint: 基本的な入力・編集・操作。	復習を行うこと
12	7/21	実習	Powerpoint: 図形、画像、表組みの利用	復習を行うこと
13	8/25	実習	Powerpoint: 良いスライドを作るには	復習を行うこと
14	9/1	実習	Powerpoint: スマートアート	すべての課題を提出すること
15	9/8	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デッサンⅣA	必修 選択	選択	年次	4	担当教員	小梨貞文
学科・コース	スーパークリエーター科昼ー4年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	多摩美術大学油画卒業／イラストレーター						
授業の学習 内容	落ち着いてよく見る。描く前に多方向から対象を見て、形を理解する。見て描くことの意味を学ぶ。写メやスケッチしたモチーフをトリミングし、よいと思う構図や画面構成を考える。鉛筆の種類、芯の硬さの選択、芯の削り具合、筆圧を変える技術を身につける。。練り消しゴムを使った技術を習得する。モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつける。モデルを使用したクロッキー、スケッチにより人体の構造を把握する						
到達目標	イラストに繋がる表現の幅を広げる。構図、画面構成の視覚的効果を理解する。モチーフの位置関係・質感・固有色・陰影を、鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。形を捉える能力を養う。日常的に描く習慣と伝達手段としての描く行為を身につける。陰影を単なる現象として描写するのではなく、モチーフの形や色に沿って表現する力を養う。ポートフォリオに完成度の高いデッサンを入れる。						
評価方法と基準	作品の完成度、課題提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/25	実習	煉瓦と木槌 2 本とレモン	静物クロッキー
2	5/2	実習	煉瓦と木槌 2 本とレモン	〃
3	5/9	実習	ワイン瓶と紙袋とりんご 2 個	〃
4	5/23	実習	ワイン瓶と紙袋とりんご 2 個	〃
5	5/30	実習	鎖とブロック	〃
6	6/6	実習	鎖とブロック	〃
7	6/20	実習	石膏デッサン 頭部のみ	人体クロッキー
8	6/27	実習	人体クロッキー モデルさん使用	〃
9	7/4	実習	鳥の剥製 カラスは除く	動物クロッキー
10	7/11	実習	鳥の剥製 カラスは除く	〃
11	7/18	実習	鳥の剥製 カラスは除く	〃
12	7/25	実習	布と幾何形体2種とビール瓶	静物クロッキー
13	8/29	実習	布と幾何形体2種とビール瓶	〃
14	9/5	実習	布と幾何形体2種とビール瓶	〃
15	9/12	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン用具一式(鉛筆・練り消しゴム・カッター・ガーゼもしくはティッシュ)プリント				